



6月 ようじぐみだより

2026.06.01

どうぶつぐるーぷ～たのしいね～

新しいお友だちや先生との出会いから2ヵ月が経ちました。どうぶつグループさんではお友だちともっと仲良くなって楽しく過ごせるように、お散歩やホールでの遊びを楽しんでいます♪ホールでは、様々な遊具を出して体を動かしてあそぶことが大好きな子どもたち。ポックリやケンパ、一本橋と遊んでいるうちに、「つぎはジグザグの道にしよう!」と子どもたちで考えて変化させてあそんでいました。良いお天気の日、散歩にも出かけています。公園では、様々な色の葉っぱやお花、木の実を袋に入れて集めていた子どもたち。お友だちと一緒に「どこにあるかな～」「いいのあるかな～」と春の草花探しを楽しんでいました♪お部屋やホール、園庭やお散歩など、様々な場面で子どもたちの表情を見て、声を聞いて、「おもしろい」「たのしい」「だいすき」がたくさん見つかるあそびをグループで楽しんでいきたいと思っています!



こといぐるーぷ～じっちょりんのタネから芽が出たよ!～

3月末にじっちょりんからお手紙と一緒にタネをもらいました。「なんのタネかな」「どんなお花が咲くのかな」とタネをみながら話していた姿があったので、お花の図鑑を見ながらタネを調べてみることにしました。「これかな?」「こっちのほうに似てる!」タネと図鑑を見比べていた子どもたち。「きっとアジサイとヒマワリだ」と似た形のタネを見つけたので、植え方を見ながら、育ててみることにしました。タネを植えて3日。芽が出ると「すごい!みてみて!」と目をキラキラさせていました。ゆりさんを中心に毎日水やりをしてくれています。園庭に出た時には、大きくなってきた葉っぱを見るさくらさん、ばらさんの姿もあり、何色のお花が咲くのか楽しみな子どもたちです!



さかなグループ～力を合わせて！ボール運びリレー～

先日、ホールでタオルを使ったボール運びリレーをグループのみんなで行いました。今回は、同じグループのお相手さん同士のつながりや、同じクラスのお友だちと一緒に協力する楽しさを感じられるように、ペアを組んで挑戦しました。

さくらさんとゆりさんペアでは、歩幅を合わせてゆりさんがゆっくり歩いたり、「一緒に持とうね！」と優しく声を掛けたりしてくれる、頼もしく微笑ましい姿がたくさん見られました。ばらさん同士のペアでは、「せーの！」と声を掛け合い、お互いのスピードを意識しながら息をぴったり合わせて頑張る姿があり、それぞれのクラスならではの「協力」の形が見られ、とても楽しい時間になりました。



テーブルふき おしえて！～ばら～

ベッド運びをゆりさんと一緒にすることを頑張っているばらさん。ゆりさんがしていたことを自分たちができるといことが嬉しくて、寝起き、パッと自分の用意を終わらせて、「ベッド運び行ってくるね！」と言っている姿が見られます。5月中旬にはテーブル拭きを練習する時間を作って、「どうしてテーブルを拭くのか」「どんな拭き方をしたらきれいになるのか」ゆりさんに1つ1つ教えてもらい手を添えてもらいながら拭きました。テーブル拭きの拭き方が分かったと、「できる！やってみる！」と気持ちが膨らんでいる様子が見られます。机の端から丁寧に拭く、水が落ちてこなくなるまでテーブル拭きをしぼる、綺麗に並べて片付ける、たくさんの手順があって難しいところもありますが、意欲的に取り組んでいるばらさんです。

ゆりさんも小さな先生になって少しドキドキしながら丁寧に教えてくれていました。ばらさんには、ゆりさんのいないお泊り保育の日には、一番大きいお友だちとして自信をもって過ごしてもらいたいと思います。



さくらさん～やさしいね！おにいさん、おねえさん～

4月、2階の生活にドキドキしていたさくらさん。そんな時、お相手のゆりさんやばらさんが「ここでお着替えしようね」、「つぎはコップを出してうがいをするよ」と毎日さくらさんに優しく関わってくれることで、子どもたちも「うれしいな」「お手伝いしてほしいな」という姿に変わってきました。「〇〇ちゃん、〇〇くん」とお相手さんの名前を呼んで「一緒にやって」「食べさせて」とお相手さんに甘える姿も出てきています。お相手のお兄さん・お姉さんに優しくお手伝いをしてもらいながら少しずつ2階での生活にも慣れてきて、今では元気いっぱいな声と笑顔を見せてくれているさくらさんです♪



ゆり☆「おとまりほいくたのしみだね！」

いよいよみんなが楽しみにしているお泊り保育の日が近づいてきました。5月にみんなで出かけた植物園に届いた八瀬の魔女さんからのお手紙とゆりさんとして頑張れる魔法がたっぷりと込められたラムネ。「みんなが安全に過ごせるように…」という魔女さんからの優しい言葉も聞いて、子どもたちにも今年度はお山の学校でのお泊りになることをお話しました。八瀬のお山には行けないのは悲しいけれど、いつも魔女さんが見守ってくれていることに目をキラキラさせていたゆりさん。「お山の学校ってどんなところかな？」と期待に胸を膨らませています。去年のゆりさんがどんなことをしていたか思い出して、みんなもお泊り保育の準備を始めています。「お泊りの本はどんな物にしよう」「キャンドル台は何を使って作りたいかな」「キャンドルサービスではどんな歌を発表したい？」とそれぞれのグループごとに集まって話し合う時間を持ちながらみんなで考えました。それぞれ意見が違うこともありましたが人の話を聞いたり、自分の思いを伝えたり…ひとつのことに決めるのは難しいことですが、そんな経験も子どもたちにはたくさんしてほしいと思っています。

お泊りの本を作っていると、「ゆりさんなにやっているの？」と興味をもつてのぞき込むさくらさんばらさんに、「ゆりさんだからおとまりほいくにいくなだよ。ゆりさんになったら〇〇ちゃんもつくれるよ！」と得意げに、嬉しそうに教えてくれました。

楽しいお泊り保育にする為、毎日準備で大忙しのゆりさん。自分たちで決めた歌の練習も自分たちのグループが一番かっこよく歌えるようにとみんなが頑張ろうと少しずつ意識が見られるようになってきました。

おうちの人と離れて過ごすお泊り保育の日は、子どもたちにとって大きな自信を得られる時間になると思います。

おうちでも、子どもたちが作ったお泊りの本を見ながら一緒に持ち物の用意をお願いします。

お泊まりを経験することでゆりさんはもちろんですが、ゆりさんがいない間のさくらさんとばらさんも大きな成長を見せてくれると思います！

27人みんなで力を合わせて楽しいお泊り保育の日を迎えられますように。。。

